

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらい		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 16日		～ 令和8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と満つな連携が取れている。また言語聴覚士の指導を他のスタッフが観察、研修することで資格はないが、そのノウハウを少しでも利用者のために習得したいという意欲が見られる。	利用者の個性や支援内容に沿うように、各スタッフとの意見交換が、活発に実施されている。	新一年生に移行する利用者には、保護者を中心とした説明会を実施するようにしていきたい。保護者や利用児の不安を少しでも払拭していく企画を実施していきたいと考えていきます。
2	父子・母子家庭あり、家庭支援が必要な場合もあります。中にはヤングケアラー的高校生もおり、家庭支援を確り実施出来ています。またゴミ処理が出来ていない家庭も、相談員と協力してゴミ出しや、分別も施設で週末に指導しています。	祖母の介護のために学校を休む生徒もいたため、市の支援を利用しながら、さらには介護職員と連携してサポートをも実施しています。	看護師在籍を最大限活用して、重度の児童の預かりも取り組んでいきたいと考えています。
3	おやつもちろんです。土曜日や長期休みの時の昼食は出来るだけ手作りを提供しています。保護者からの評価も高いです。	令和8年2月に就学児12名をUSJ見学に引率しました。参加費の自己負担金は一万円のみで、あとは施設の負担で実施しました。集団行動や社会活動の体験、指示を理解できているかの確認ができました。また買い物で金銭感覚も養えました。	今後は就労に向けて、障がい者の雇用について会社見学やIT面での技術の習得に向けて指導が出来るようにしていきたいと計画しています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の住民や地域の子供達との交流ができていない。利用児の療育時間帯が、平日の午前中ということもあり、時間的な制約のため交流の実施は厳しいと思われる。	時間帯の不一致があるため。	他の事業所の事例を開示して欲しい。参考になるようなことは、積極的に取り入れていきたい。
2	利用児の増加のため、基準のスペースでは手狭になってきている。利用者には児童発達支援と放デイが、時間帯によっては混在する時もあり、療育内容が十分に実施できない場合もある。	活動や療育の内容によっては、スペースが狭い。	隣接する古い民家を購入し、場合によっては低学年と高学年を分けて活動している。
3	職員の研修用に、請求ソフト会社の研修動画など費用負担して参加できる王にしていますが、時間的にも余裕がないため積極的に活用できておりません。人員を増やして時間的余裕を設けて、より研修を受けてもらい質向上に努めなければいけないと考えております。	人員の増員	定期的な研修の実施と質向上に向けたプログラムの策定と周知をおこないたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらい

公表日 令和8年 3月 10日

利用

児童数 15

回収数

11

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		人数が増えて手狭ではないかと感じています。	将来は拡張を検討します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	<input type="radio"/>					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		オゾン発生器で除菌されており、衛生面は心配していませんが、手狭と感じています。	将来は拡張を検討します。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○			○		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○			○		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○			○		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○			○		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○			○		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○	○				意思表示ができないのか、保護者と一度確認してみたいとおもいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みらい				公表日	令和8年 3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	隣接の家屋で、低学年と高学年を分けて活動している。	今後は広いスペースのある場所に移転するか、改築が必要と思われる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			適切な人員配置ができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			玄関以外はバリアフリー対応になっています。洗面所やトイレの場所などは利用開始時に何度も教えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	情緒が乱れている時に複数人がかさなり、もう少しスペースが広げればと思う。	衛生面は十分に注意、配慮しているが、空間的には厳しくなってきた。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	情緒が乱れている時に複数人がかさなり、もう少しスペースが広げればと思う。	今後は広いスペースのある場所に移転するか、改築が必要と思われる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の始まりで、前日の内容の確認と今後の課題について、職員全員で共有を実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎週、療育内容の結果をデータとして渡しており、今後の課題を共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			特別に機会は設定していませんが、必要な時は職員に積極的に提案できるように配慮しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者の方は不定期に訪問があり、管理者と協議をしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		請求ソフト会社が提供する研修サイトに、毎月1万円以上の費用をかけて機会を設けているが、研修内容のチェックまでは出来ていない	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントは利用児に変化が見られたら、期間に関わらず実施・作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			実施している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			共有はされていますが、計画通りの支援は十分とは言えない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			各利用児には特性があるため、ほぼインフォーマルなアセスメントとなっている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		実施していますが、特に家庭支援の必要性を感じています。母親の支援が必要な場合が多々あります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		児発管が各職員と話し合い実施している。また請求ソフト会社の教材も活用している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児発管が各職員と話し合い実施している。また請求ソフト会社の教材も活用している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児発では実施しているが、放デイでは活動時間が限られているため、どうしても集団活動が中心になっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		児発では、送迎後に支援内容の振り返りを実施しているが、放デイは送迎があるため、翌日に実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		児発管が中心になりますが、児発の場合は担当者も同席する場合があります。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		保育園、相談所、相談員とは密接に連携できていると思います。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		併行利用児上はいませんが、移行に向けた情報交換や共有は行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育園と学校の担任と連携が取れています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			一年生は実施しているが、二年生以上では保育園や幼稚園までさかのぼっては情報の共有は出来ていない場合も多い。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		こちらから就労支援施設に見学に行ったりと、積極的に移行支援をおこなっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターが存在しないために、相談所と連携を積極的に行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			時間的に厳しく、地域の子供達も含めて共同の活動はできていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			そお基幹センターが実施する定期的な「こども部会」に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		実施できています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○		必要な児童では情緒安定などの支援を、各家庭に実施できている。家族とは出来るだけ接点を設けるようにしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		実施しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		最初の面談で、児発管や相談員を交えて機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明をし、同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎の折に、できるだけ保護者との会話をづくり、情報交換を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			父母の会や、保護者会は特に設けていない。年数回のバーベキューなどで交流の機会は実施しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		とても頻繁にできています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動内容を毎週提供しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			シュレッダーはありますが、十分利用しているとはいえない。個人情報の取り扱いには十分注意して取り扱っています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		十分に配慮できています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域住民との連携や行事への招待はできていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		全てのマニュアルを策定し、定期的に研修や訓練を実施しています。消防訓練も消防職員の同席を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		全てのマニュアルを策定し、定期的に研修や訓練を実施しています。消防訓練も消防職員の同席を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		看護師が2名在籍しており、十分に出来ております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			医師の指示書に対して、日常接している看護師の立場で、服薬の提案も行っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		46、47でも記載していますが、実施できています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		46、47でも記載していますが、実施できています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの児童は限定されており、その都度状況を子細に記録し再発防止に向けた共有に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法定のため実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		マニュアルに沿って研修をおこない、保護者には契約時に説明し了解を得ています。個別支援計画書にも記載し説明しています。		